



取扱説明書

遠隔操作ガイド

ハードディスクレコーダー

DVR-S210



このたびは、セレン製ハードディスクレコーダー【DVR-S210】をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しく使用していただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してください。

お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。保証書は、必ず必要事項が記載されていることをご確認ください。

はじめに

商品概要

本製品は、パソコン(以下、PC)のウェブブラウザでライブ画面を確認したり、本製品に記録された録画データを確認することができます。

PCで確認、操作できる主な機能は以下のとおりです。

■ライブ映像の確認

本製品に接続された監視カメラのライブ映像を確認することができます。「単一画面」「4分割画面」等表示画面の切替が可能です。

■スナップショット

ライブ映像で表示されている映像の任意の一瞬を静止画で保存することができます。

■録画データの再生

本製品に録画データを日時を指定して再生することができます。

■録画データの保存

本製品に録画データの一部を動画や静止画でPCに保存することができます。

※保存できる容量はPCによって異なります。

必要なPCの環境

PCで本製品を操作するためには下記の環境が必要です。

※条件が満たない場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。

◇PC本体	IBM PC/AT互換機
◇OS	Windows®2000、Windows®XP、Windows®Vista
◇CPU	Pentium®4 2.4GHz以上
◇メモリ	512MB以上(Vistaの場合は1GB以上)
◇ウェブブラウザ	Microsoft® Internet Explorer6.0以上
◇インターフェイス	10/100Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること

商標および登録商標について

Microsoft®、Windows®、Windows®2000、Windows®XP、Windows®Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。(Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。)

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

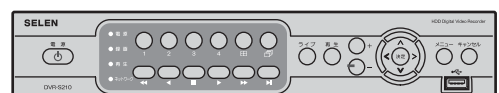
(なお、本文中では®は明記していません。)



1. ActiveXコントロールのインストール

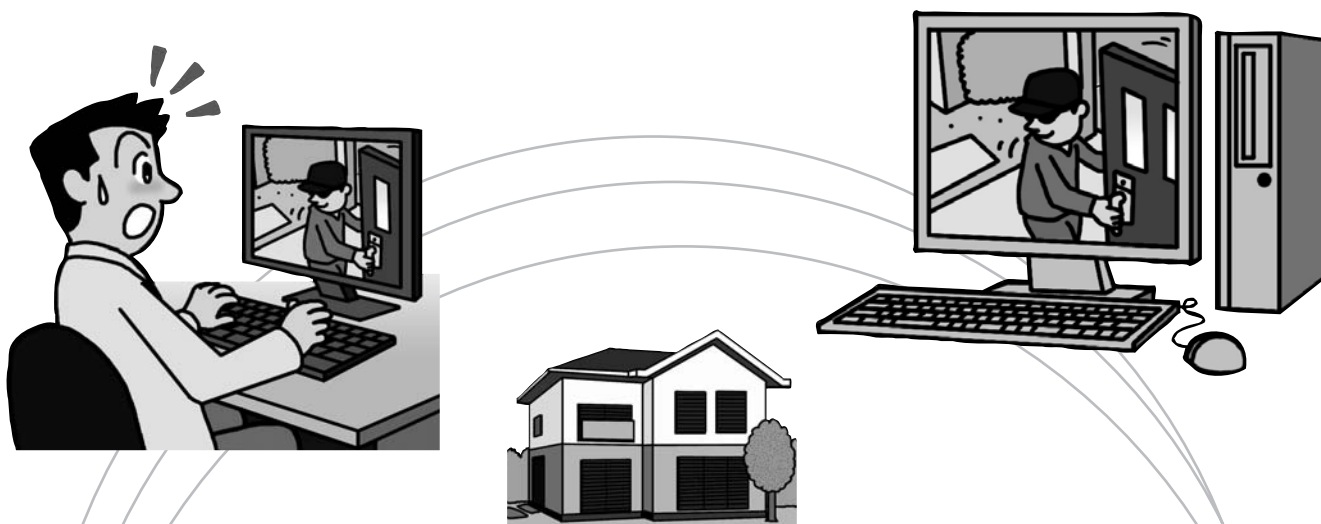
2. ライブ画面について

3. 再生操作画面について

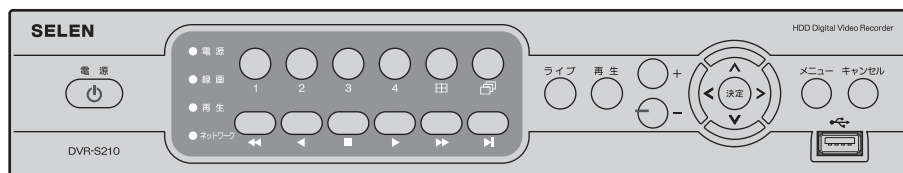


ネットワークについて

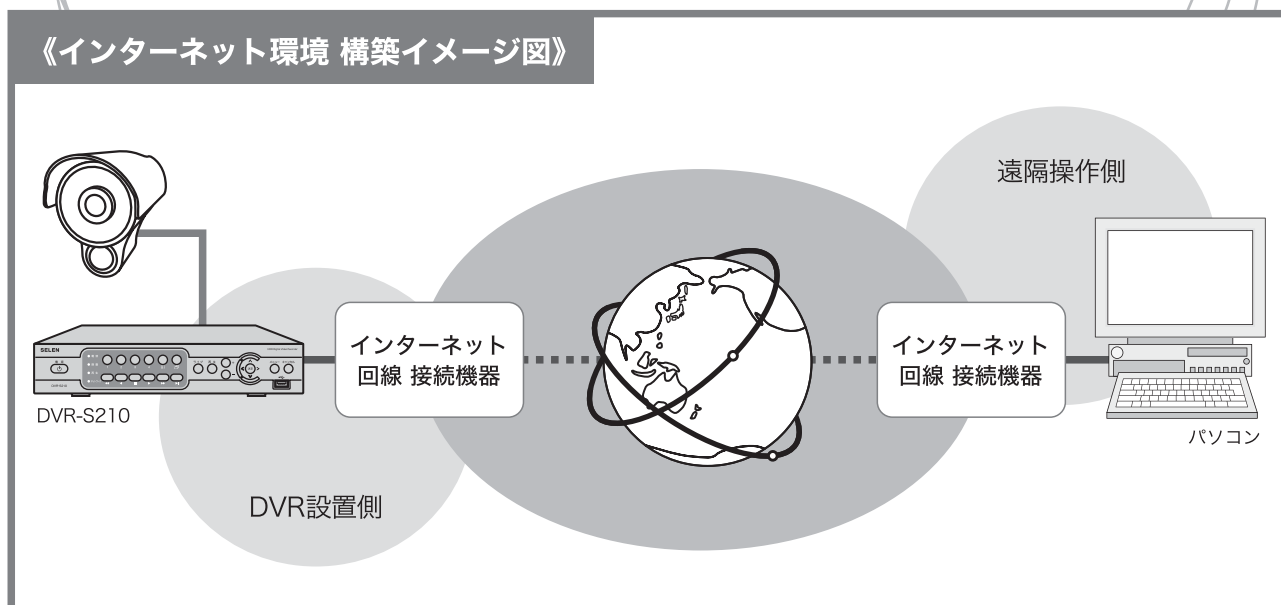
本製品は、離れた場所でもインターネットに接続できるパソコンから映像を確認することができます。



インターネット環境のあるパソコンで
映像を確認できます



《インターネット環境 構築イメージ図》



本製品のライブ映像や録画データを遠隔から見るためには、インターネット環境や接続機器等、次のような環境や機器等が必要になります。必要に応じてご準備ください。

遠隔から本製品の映像を見るために必要な主な環境および機器

■本製品(DVR-S210)側

環境

- ・インターネット(ブロードバンド)回線(ADSL、光回線、ケーブル回線等)
- ・インターネットプロバイダーとの契約

機器

- ・インターネット回線接続機器(モデム、ONU(光回線終端装置)等)
- ・DDNS(ダイナミックドメインネーム)対応ルータ
- ・設定用PC

■遠隔操作側

環境

- ・インターネット(ブロードバンド)回線(ADSL、光回線、ケーブル回線等)
- ・インターネットプロバイダーとの契約

機器

- ・インターネット回線接続機器(モデム、ONU(光回線終端装置)等)
- ・操作用PC

遠隔から本製品の映像を見るための基本的な設定手順

■本製品(DVR-S210)側

1. ルータのインターネット接続設定

2. ルータからDDNSドメインの取得、ルータの設定(ポート等)など

- ◇インターネット側(WAN側)の設定
- ◇本製品(DVR-S210)側(LAN側)の設定

3. 本製品(DVR-S210)の設定

- ◇TCP/IPの設定
- ◇メール送信の設定(遠隔からの監視には関係ありません)

■遠隔操作側

1. PCのインターネット接続設定

2. PCの設定

- ◇セキュリティソフトの確認
- ◇専用ActiveXコントロールのインストール(本書P6~P7をご覧ください)

※遠隔操作用PCに専用「ActiveXコントロール」をインストールする際に、DVR側のルータ設定時に取得した「ドメイン」が必要になります。

※各機器の設定・操作方法は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

※本ページの環境、機器手順は、動的グローバルIPアドレスを前提に説明しています。

ActiveXコントロール(WebDvr3)のインストール

遠隔のPCでDVR-S210の映像を見るためには、専用のActiveXコントロール (WebDvr3) が必要です。

ActiveXコントロール (WebDvr3) は、インターネットエクスプローラーでDVR-S210にアクセスすると自動的にダウンロード/インストールされます。

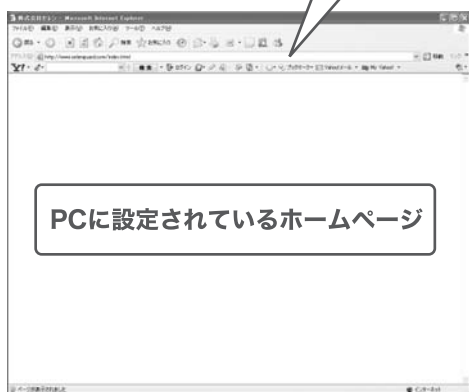
※本ページで使用する「ドメイン名」は、DDNSサーバーに登録したDVR-S210のドメイン名です。

1 インターネットエクスプローラーを起動します。

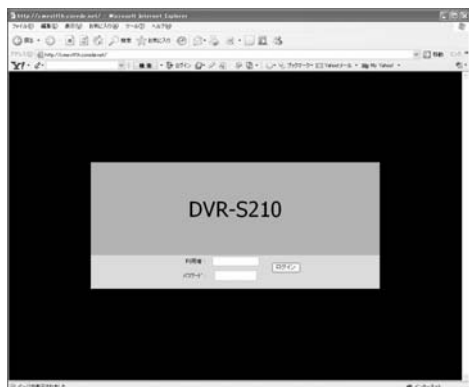


2 インターネットエクスプローラーのアドレスバーにDVR-S210の「ドメイン名」を入力し、アクセスします。

この部分にドメイン名を入力します。



3 DVR-S210の[ログイン画面]になり、インストールを開始します。

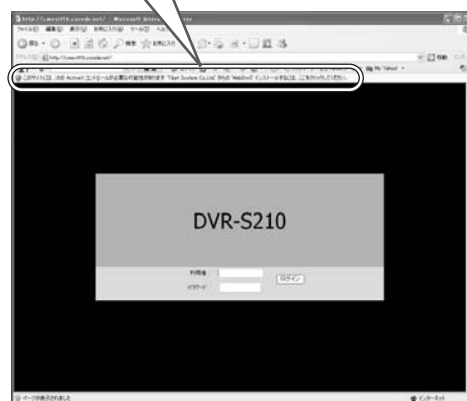


※インストールする段階で、インストール確認、セキュリティ警告等の画面が表示される場合があります。

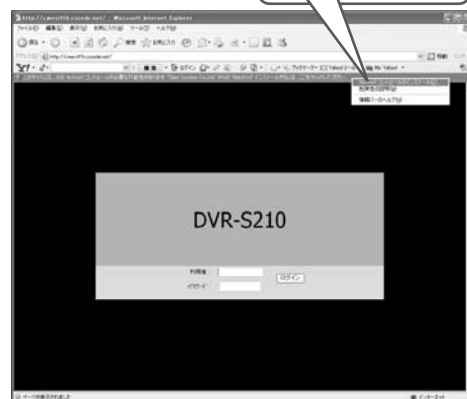
表示されたら「インストールする」、「実行」、「開く」等を選択してインストールしてください。

インストール確認やセキュリティ警告等の画面表示の例

このサイトには、次のActiveXコントロールが必要になる可能性があります。“Tibet System Co.,Ltd”からの“WebDvr3”をインストールするには、ここをクリックしてください



クリックしてください

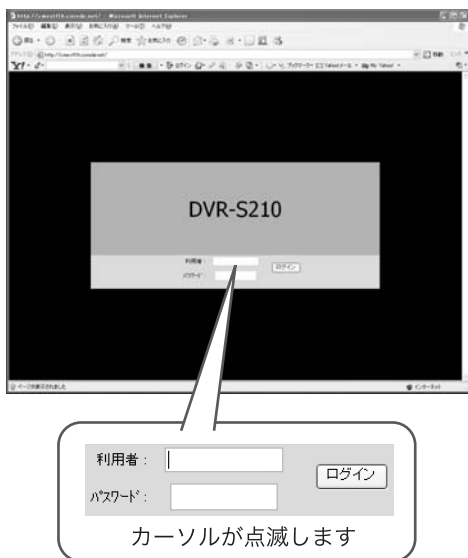


クリックしてください



OS、インターネットエクスプローラーのバージョンやセキュリティソフトによって表示される画面は異なる場合があります。

- 4** インストールが終了すると[利用者]の欄にカーソルが点滅します。(※ PC、インターネット環境によって、インストールに数分かかる場合があります。)



- 5** 「利用者」の欄に“admin”、「パスワード」の欄にDVR-S210 本体に設定したパスワードを入力し「ログイン」をクリックします。



※ 本体にパスワードを設定していない場合は、空欄のまま「ログイン」をクリックします。

- 6** 設定画面が表示され、しばらくするとライブ画面が表示されます。



インストールされない場合は、最初からやり直してください。

ライブ画面の操作方法については、P8～P10をご覧ください。

Internet Explorerのセキュリティについて

情報バーにインストール確認のメッセージが出る前に「ActiveXコントロール」がブロックされてしまう場合は、Internet Explorerのセキュリティにおいて、拒否している可能性があります。

Internet Explorerのセキュリティレベルを下げるか、[ActiveX]と[プラグイン]の項目を一旦「有効にする」に変更してください。

一回インストールした後に、元の設定に戻してください。




ライブ画面について

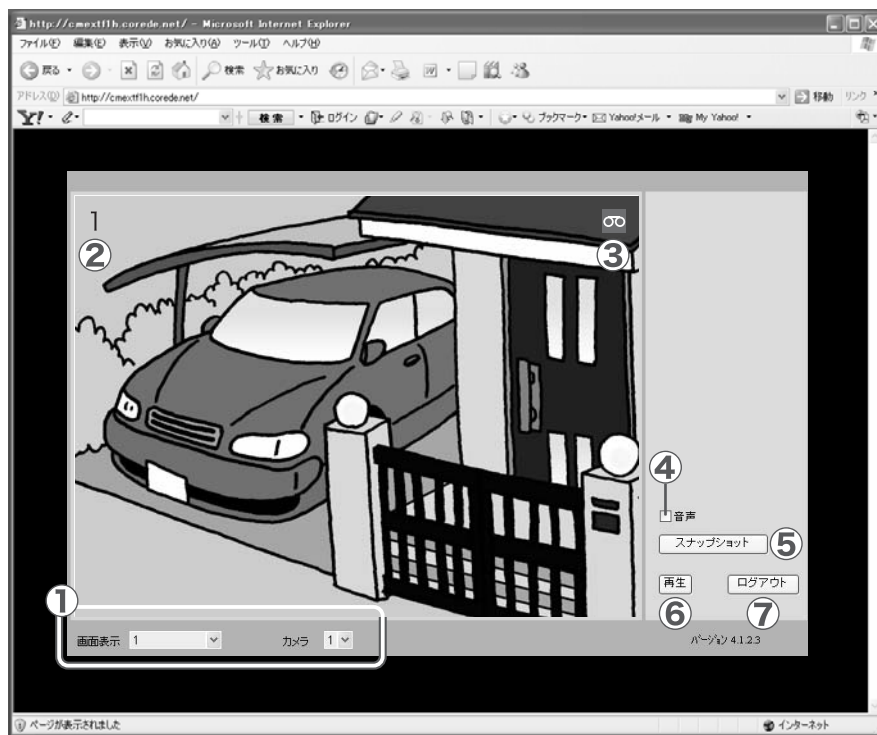
ライブ画面では、DVR-S210に接続されているカメラのライブ映像を見ることができます。また、任意の瞬間を静止画として保存することができます。

画面の説明

- ① 画面の切替
- ② カメラチャンネル
- ③ 表示マーク
- ④ 音声ON/OFF切替
- ⑤ スナップショット
- ⑥ 再生画面切替
- ⑦ ログアウト

【表示マーク】

-  録画していることを表します。
-  動体検知されたことを表します。
(検知されたときに表示します。)
-  録音が設定されていることを表します

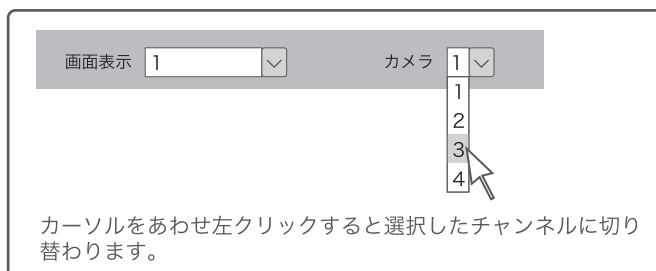


画面の切替

ライブ画面で表示させるチャンネルを切り替えたり、フルスクリーンにしたりすることができます。※画面の切替は、再生画面での操作も同じになります。

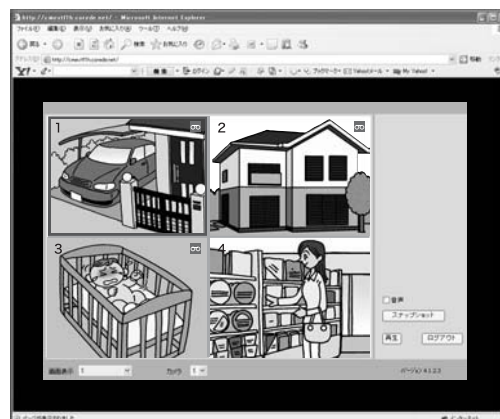
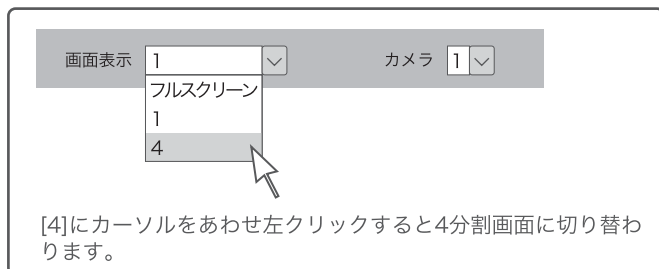
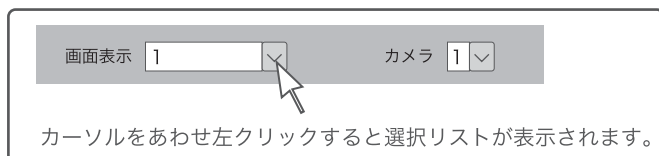
■ 表示させるチャンネルを切り替える

接続したときの画面は単一画面で、カメラ[1]のチャンネルが表示されます。



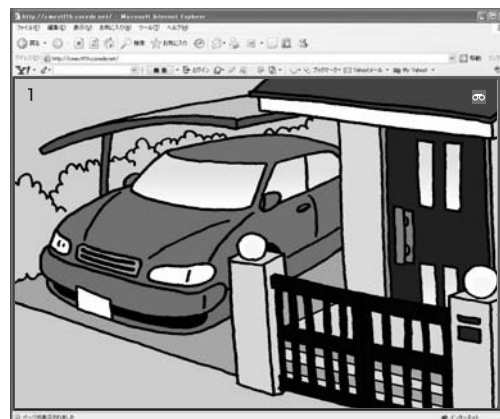
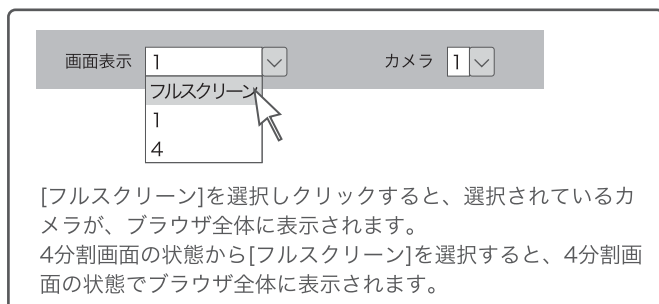
■ 4分割画面に切り替える

接続したときの画面は単一画面です。画面表示の▼で画面を切り替えます。



4分割画面から単一画面に切り替える場合は、「画面表示」の[1]を選択しクリックすると単一画面に切り替わります。また単一画面にしたいチャンネルの映像部分にカーソルをあわせダブルクリックするとそのチャンネルの単一画面に切り替わります。

■ フルスクリーン画面に切り替える



フルスクリーンから通常の画面に戻る場合は、映像部分を左クリックすると通常の画面に戻ります。

音声のON/OFF切替

DVR-S210に入力されている音声を出すことができます。



チェックボックスをクリックすると✓マークがつきます。🔊マークがついたカメラチャンネルを選択すると音声が出ます。

※DVR-S210に音声が入力されていないと、音声は出ません。

スナップショット

任意の瞬間を静止画として保存することができます。

1 保存したい画像のカメラチャンネルを選択します。
4分割画面の場合は、保存したいカメラチャンネルの映像をクリックします。(チャンネルが緑枠で選択されます。)もしくは、保存したいカメラ映像を単一画面にします。

2 画面右下の【スナップショット】ボタンをクリックすると、「画像を保存」のダイアログが表示されます。



※スナップショットを押した時点の画像が保存されます。



※あらかじめ保存するフォルダを作成しておくとう便利です。



3 ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。



4 指定のフォルダに「JPEG」ファイルが作成されます。画像を確認する場合は、ファイルを選択して開きます。



3 (2008-07-05 12:34:56)

① ②

① 保存したカメラチャンネル
② 保存したデータの日時

再生・ライブ切替

再生操作画面に切り替わります。



ログアウト

ライブ画面を終了し、ログイン画面になります。



※ブラウザを終了させる場合は、ブラウザの終了の方法に従ってください。



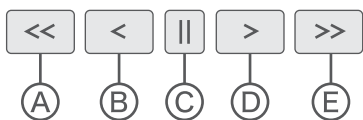
再生操作画面について

再生操作画面では、DVR-S210に記録された録画データを日時を指定して再生することができます。また、指定した時間を動画で、任意の瞬間を静止画として保存することができます。

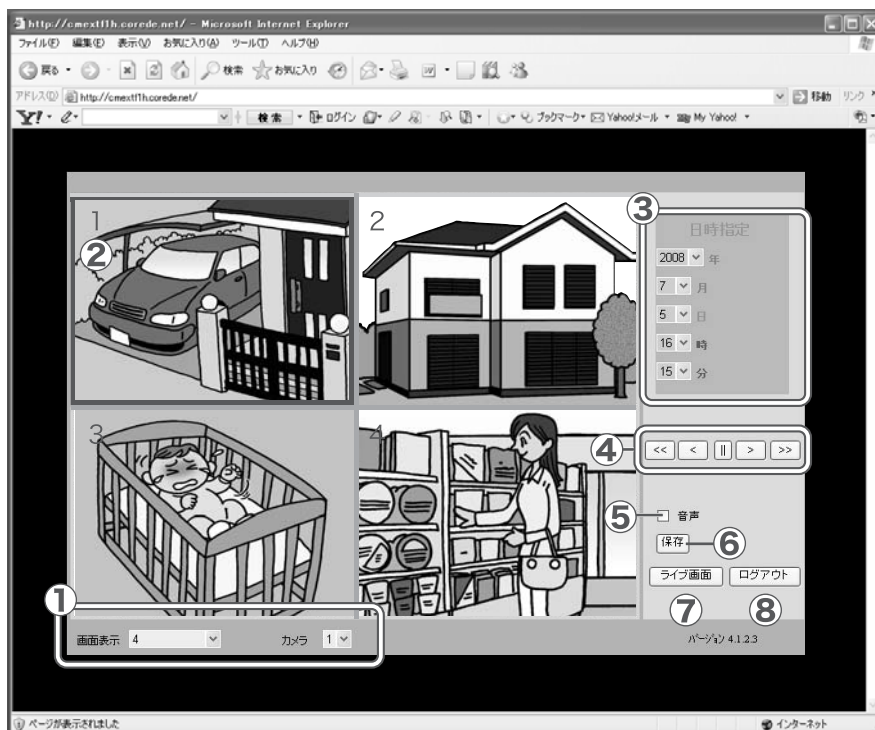
画面の説明

- ① 画面の切替
- ② カメラチャンネル
- ③ 日時指定欄
- ④ 再生操作ボタン
- ⑤ 音声ON/OFF切替
- ⑥ データの保存
- ⑦ ライブ画面切替
- ⑧ ログアウト

【再生操作ボタン】



- | | |
|---------|-------|
| Ⓐ 早戻し再生 | Ⓓ 再生 |
| Ⓑ 戻し再生 | Ⓔ 早再生 |
| Ⓒ 一時停止 | |



※ライブ画面から再生操作画面に切り替えたときに表示されるチャンネルは、ライブ画面で設定されていたチャンネルになります。

(ライブ画面時に[カメラ2]を表示していた場合→再生操作画面でも[カメラ2]が表示されます。)

ライブ画面時に[4分割]を表示していた場合→再生操作画面でも[4分割]が表示されます。

※パソコンの時計設定が、DVR-S210に設定されている時刻より進んでいる場合に、映像が表示されない場合があります。表示されない場合は、PCの時計設定を変更するか、[日時指定欄]で現在より前の時間を指定してください。

(再生操作画面に切り替えた際、[日時指定欄]に表示される時刻はライブ画面で【再生切替】ボタンを押した時点の時刻になります。)

画面の切替

再生操作画面での画面の切替方法は、ライブ画面での画面の切替方法と同じになります。切替方法につきましては、P8～P9をご覧ください。

日時指定再生

【日時指定欄】を使用し、録画データの再生したい映像の開始時刻を指定します。

日時指定	
2008	年
7	月
5	日
16	時
15	分

再生したい映像の開始時刻を各項目ごとに をクリックし選択範囲の中から選択・指定します。

注) ライブ画面から切り替えた際に表示された時刻より未来の時刻を指定しても映像は再生されません。

※ライブ画面から【再生切替】ボタンを押した時点の時刻が表示されます。

【例】2008年 7月4日 12時34分を指定する

1 日付の場所の をクリックすると日付の選択範囲が表示されます。

日時指定	
2008	年
7	月
5	日
2	時
3	時
4	時
5	分
6	分
7	分
8	分
9	分
10	分
11	分
12	分
13	分
14	分
15	分
16	分
17	分
18	分
19	分
20	分
21	分
22	分
23	分
24	分
25	分
26	分
27	分
28	分
29	分
30	分
31	分

選択範囲が表示されたらカーソルを[4]にあわせクリックします。

2 日付の表示が[4]に変わります。

日時指定	
2008	年
7	月
4	日
16	時
15	分

同様の手順で【時】と【分】を選択・指定します。

日時指定	
2008	年
7	月
4	日
12	時
34	分

2008年7月4日12時34分が指定されました。

画面上に7月4日12時34分時点の映像が表示されます。

※指定した時刻に録画データが存在しない場合、画面上に映像は表示されません。(画面が白く表示されます。)

3 【再生操作】ボタンで【再生】をスタートします。



※再生操作画面に切り替えた時点の時刻に再生が到達すると、再生はストップします。継続する場合は、一旦ライブ画面に戻ってから再度設定してください。

※動体検知等の検知録画で録画されたデータを単一画面にして再生した場合、データを続けて再生するため、検知していない部分を飛ばして再生します。4分割画面で他のチャンネルに録画データがある場合は、データの最後が一旦静止画になり約一分後に白く表示されます。

※通信状態によっては、映像が止まって見えたり乱れたりする場合がありますが、故障ではありません。

音声のON/OFF切替

録画データに録音されている音声を出すことができます



チェックボックスをクリックすると✓マークが付き、録音されているカメラチャンネルを選択すると音声が出ます。

※録画データに録音されていないと音声は出ません。

データの保存

指定した時間帯を動画（再生アプリケーション付き）で保存することができます。また、任意の瞬間を静止画として保存することができます。

1 保存したい画像のカメラチャンネルを選択します。

4分割画面の場合は、保存したいカメラチャンネルの映像をクリックします。(チャンネルが緑枠で選択されます。)もしくは、保存したいカメラ映像を単一画面にします。

2 画面右下の【保存】ボタンを左クリックすると、保存形式の選択が表示されます。



Exe形式 …… 再生アプリケーション付き動画
BMP形式 } …… 静止画
JPEG形式 }

Exe形式
BMP形式
JPEG形式

3 それぞれの形式で保存します。

JPEG形式で静止画を保存する

■ [JPEG形式] をカーソルで選択し、クリックすると、「画像を保存」のダイアログが表示されます。

Exe形式
BMP形式
JPEG形式



※あらかじめ保存するフォルダを作成しておくとう便利です。



■ ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。



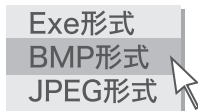
再生操作画面について

- 指定のフォルダに「JPEG」ファイルが作成されます。画像を確認する場合は、ファイルを選択して開きます。



BMP形式で静止画を保存する

- [BMP形式]をカーソルで選択し、クリックすると、「画像を保存」のダイアログが表示されます。

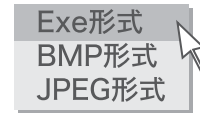


- 以下の手順は、「[JPEG形式]で静止画を保存する」と同じになります。

※[JPEG形式]、[BMP形式]をクリックした時点の画像が保存されます。

Exe形式で動画を保存する

- [Exe形式]をカーソルで選択し、クリックすると、「Exe形式」保存のダイアログが表示されます。



Exe形式

期間設定

開始時間: 2008-07-05 16:05

終了時間: 2008-07-05 16:05

パスワード

パスワード:

パスワード再入力:

保存フォルダ

保存先:

参照...

OK キャンセル

- 各項目を設定します。

①保存期間の設定

保存する映像の開始の日付と終了の日付を設定します。開始の日付の▼をクリックするとカレンダーが表示されますので、カーソルで日付にあわせてクリックします。開始の日付が確定します。

期間設定

開始時間: 2008-07-01 16:05

終了時間: 2008-07-02 16:05

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
○	今日	2008/07/06				

同様に終了の日付を設定します。

期間設定

開始時間: 2008-07-01 16:05


終了時間: 2008-07-02 16:05

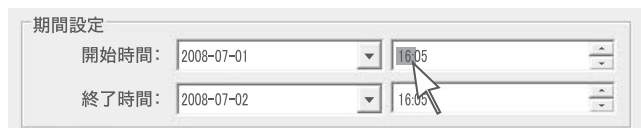
※日付の部分をクリックするとカレンダーを表示させずに直接入力ができます。

期間設定

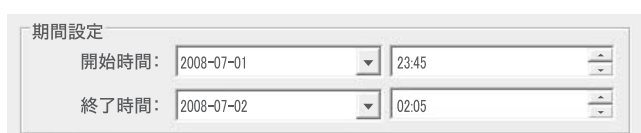
開始時間: 2008-07-01 16:05

終了時間: 2008-07-02 16:05

次に開始時間を設定します。
開始の時間をクリックで選択し、 をクリックするか、直接入力して時間を設定します。(分の部分も同様に設定します。)



同様に終了時間を設定します。



②パスワードの設定

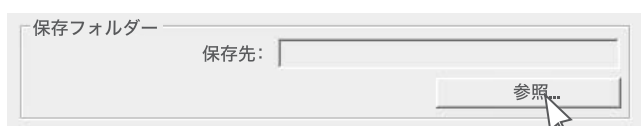
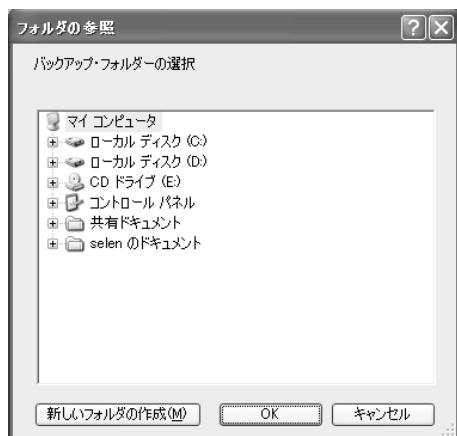
保存した動画を再生するときのパスワードを設定します。
カーソルでクリックして直接入力します。



※設定しない場合は、動画を再生する際にパスワード無しで再生できます。

③保存フォルダの設定

動画を保存するフォルダを設定します。【参照】ボタンをクリックすると「フォルダの参照」が表示されますので、保存する場所を指定してください。

※フォルダの指定場所や新しいフォルダの作成につきましては、各PCの操作方法に準じてください。

■「期間設定」「パスワード」「保存フォルダ」の設定が終了したら【OK】ボタンをクリックします。



DVR保存ウィザードが表示され保存作業が開始されます。



保存するファイルを計算中



保存中



保存作業が完了いたしました

「バックアップするディスク容量が不足しています」
…指定した場所のディスク容量より録画データの容量が大きい場合に表示されます。

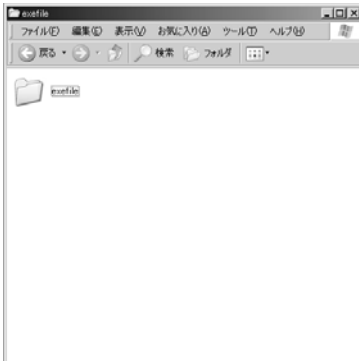
「バックアップするデータがありません」
…指定した期間に録画データがまったくない場合に表示されます。

※指定した期間に一部でも録画データがあれば、全体に録画データがなくても保存は可能です。

再生操作画面について

■保存した録画データを再生します。

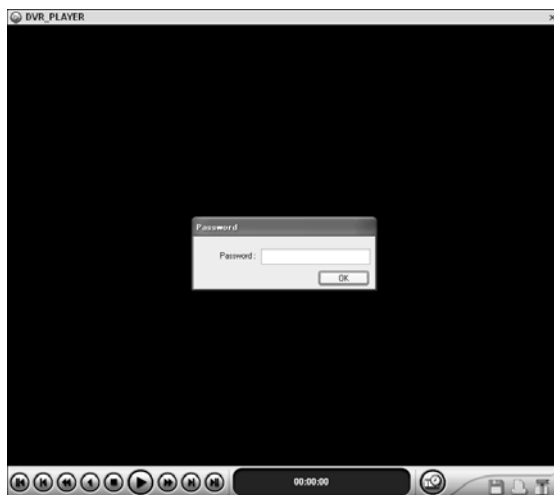
動画を保存したフォルダを開き、フォルダの中に[exefile]名のフォルダがあることを確認します。



[exefile]フォルダを開き、フォルダの中に再生ファイルがあることを確認します。



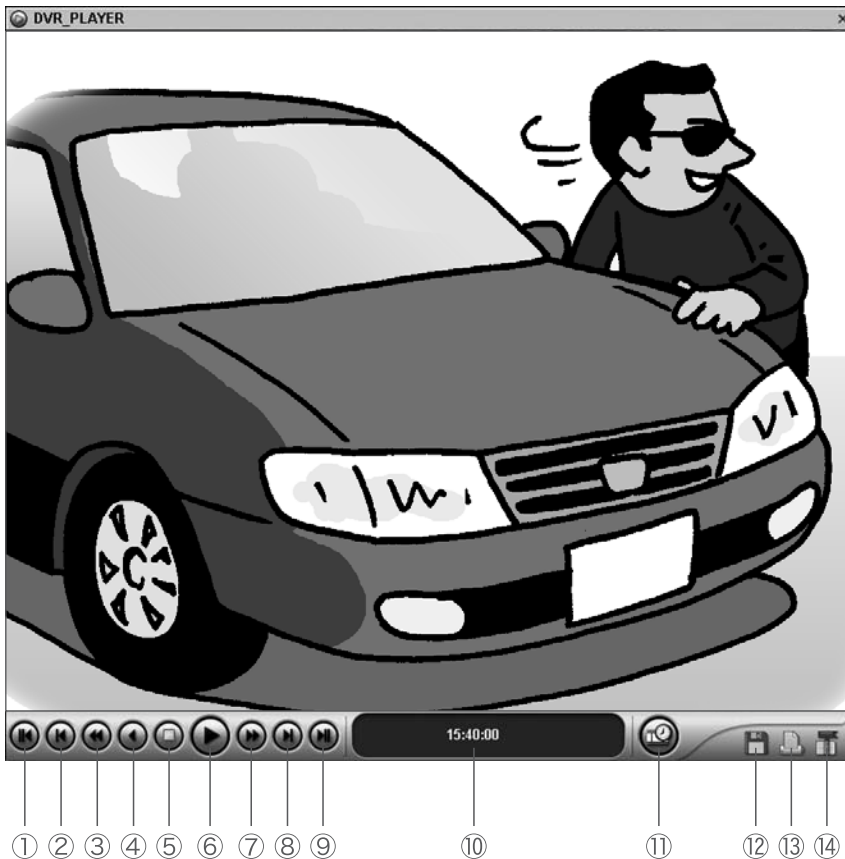
再生ファイルを開くと、保存の設定の際にパスワード設定した場合は、パスワード入力が表示されます。
パスワードを入力してください。



パスワードを設定していない場合は、上のパスワード入力画面は表示されません。そのまま保存データの再生画面が表示されます。

■次ページの操作方法をご覧になり再生操作を行ってください。

保存データの再生画面



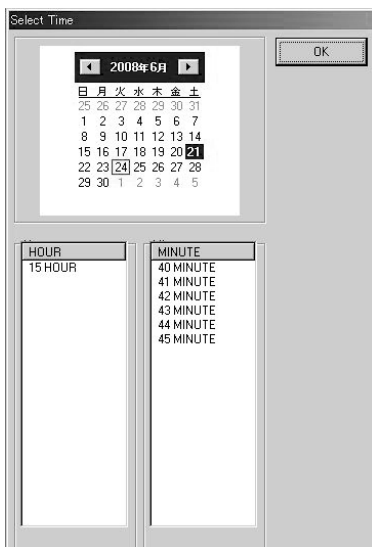
ボタン操作の説明

- ① データの一番最初に戻す
- ② コマ戻しする
- ③ 早戻し再生する
- ④ 戻し再生する
- ⑤ 再生停止する（一時停止状態）
- ⑥ 通常再生
- ⑦ 早再生する
- ⑧ コマ送りする
- ⑨ データの一番最後に進める
- ⑩ 表示されているデータの時間

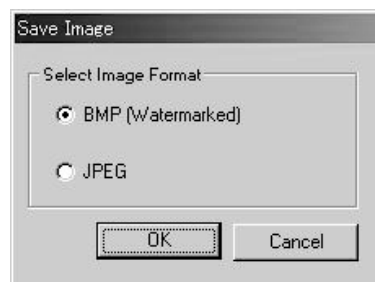
- ⑪ 時間検索設定
- ⑫ 静止画を保存する
- ⑬ 静止画を印刷する
- ⑭ 画面設定

⑪時間検索設定 

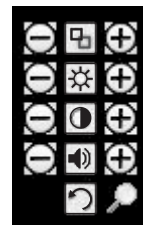
コピーしたデータの中で時間指定することができます。分・秒を選択し、【OK】をクリックしてください。

⑫静止画を保存する 









アイコンをクリックした時点の画像をビットマップ形式か、JPEG形式で保存できます。形式を選択し、【OK】をクリックしてください。

⑬静止画を印刷する 

アイコンをクリックした時点の画像をプリンターで印刷できます。（パソコンにプリンターが接続してある必要があります。）

⑭画面設定 

画面の画質等を調整できます。

-  画面の線明度を調整します
-  画面の明るさを調整します
-  画面のコントラストを調整します
-  音声のボリュームを調整します
-   で調節してください
-  調整をリセットします
-  画面を拡大／縮小します

再生操作画面について

再生・ライブ切替

ライブ画面に切り替わります。

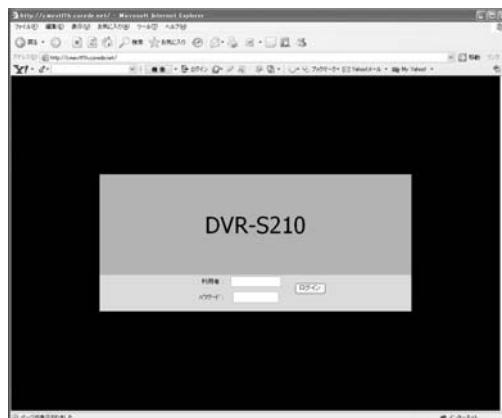


ログアウト

再生画面を終了し、ログイン画面になります。



※ブラウザを終了させる場合は、ブラウザの終了の方法に従ってください。



Memo:



株式会社セレン

〒170-0013

東京都豊島区東池袋 1-11-6 相馬ビル

Tell : 03-5911-1045

Fax : 03-5911-1046

E-mail : info@selenguard.com

URL : <http://www.selenguard.com>